

家畜衛生だより

最大限の警戒を!! 高病原性鳥インフルエンザ多発

全国的に例年より感染リスクが高い状況です

① 11月という早い時期から養鶏場での発生が多発

香川県では11月21日までに8事例の発生がありました。
その後、福岡県、兵庫県で発生が続いています。

9例目

- ・確定日：11月25日
- ・所在地：福岡県 宗像市
- ・飼養羽数：肉用鶏(約8.5万羽)

10例目

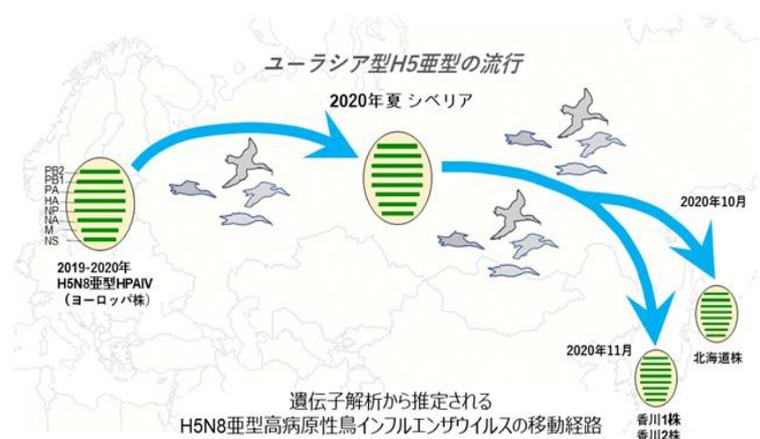
- ・確定日：11月25日
- ・所在地：兵庫県 淡路市
- ・飼養羽数：採卵鶏(約14.6万羽)

② 国内の野鳥や環境材料からも相次いでウイルスを確認

10月から北海道紋別市、鹿児島県出水市、新潟県阿賀野市などで野鳥の糞便や環境からH5N8型のウイルスを確認しています。

今回のH5N8型ウイルスはヨーロッパから渡り鳥を介して夏にシベリア、この10月に日本に侵入したとされています。

飛来する渡り鳥の数も例年より多い傾向にあり、今後も渡り鳥シーズンは続きます。さらに、国内を移動し、ウイルスを広げるリスクが高まります。



③ 韓国で高病原性鳥インフルエンザ(H5N8)発生

11月27日に韓国の家きん農家(肉用アヒル農場)で発生が確認されました。ロシアやヨーロッパの多くの国の家きん農家でも発生しています。

疫学調査チームの調査概要(香川県の1～5例目)

事例	場所	飼養状況	人	飼養衛生管理	野鳥・野生対策
1	香川県 三豊市	採卵鶏 約32万羽	鶏舎ごとの踏み込み槽はあるが、長靴交換なし	消毒ゲートが農場外にあり消毒後に一般道を通過	集卵ベルトの開口部に隙間あり、ネズミの糞あり
2	香川県 東かがわ市	採卵鶏 約5万羽	鶏舎ごとの踏み込み槽はあるが、長靴交換なし	車両用動噴を今シーズンはまだ設置せず	集卵、集糞ベルトの開口部に隙間あり、ネズミの糞あり
3	香川県 三豊市	肉用鶏 約1万羽	鶏舎内の長靴交換の動線が交差	—	鶏舎側面の金網等の一部破損、小型の野鳥侵入あり
4	香川県 三豊市	肉用鶏 約1万羽	鶏舎内の長靴交換の動線が交差	夜間にロールカーテンを一部開放	壁に隙間あり、ネズミの糞あり
5	香川県 三豊市	採卵鶏 約8万羽	鶏舎ごとの踏み込み槽はあるが、長靴交換なし	鶏糞処理施設に防鳥ネットなし	集卵ベルト開口部に隙間あり、ネズミの糞あり

< 予防対策のポイントやこれらの事例の問題点は別紙を参照してください。 >

HPAIの特定症状

家きんの健康観察を毎日行い、写真のような症状があれば速やかに御連絡ください。

※香川県2、3例目では死亡鶏に肉冠の黒赤色化を確認



写真1: 肉冠の出血・壊死



写真2: 顔面の浮腫性腫脹



写真3: 脚部皮下の出血



写真4: 甚急性死亡例、明らかな肉眼病変なし

出典：農研機構

